

# お手入れのしかた

## 本機の清掃について

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。ベンジン、シンナー類を使うと、ケースや塗装が変質しますので、避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。



### お願い

本機内に水が入ると故障の原因になりますので、洗車や雨のときに水がかからないようにご注意ください。

# CD（コンパクトディスク）の取り扱い

**COMPACT disc DIGITAL AUDIO** 本機に使用できるコンパクトディスクは左のマークが入っているものに限ります。

## CDの持ち方



### お願い

ディスクのセンターホールと外周部分を持ってください。

## 取り扱い上のお願

- CDの汚れやゴミ・キズ・そりなどが、音とびなどの誤動作の原因になる場合があります。特にケースからの出し入れにご注意ください。
- ラベル面に紙などを貼ったり、傷をつけたりしないでください。
- CDは曲げないでください。

## 保管上のお願

- CDを長時間使用しないときは、汚れやゴミ・キズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。
- 次のような場所に置くことは避けてください。
  - 1) 長時間直射日光の当たる場所。
  - 2) 湿気やゴミ・ほこりの多い場所。
  - 3) 暖房器具の熱が当たる場所。
  - 4) 車のシート、ダッシュボードの上。

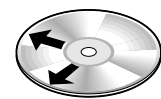
## 新しいCDの使用上のお願

新しいディスクには、ディスクのセンターホールや外周にバリ（右図参照）が残っている場合があります。このようなディスクをご使用になると、ディスクが正しくセットされず、動作しないことがありますので、バリを細い棒状のもの（たとえばボールペンなど）で取り除いてからお使いください。



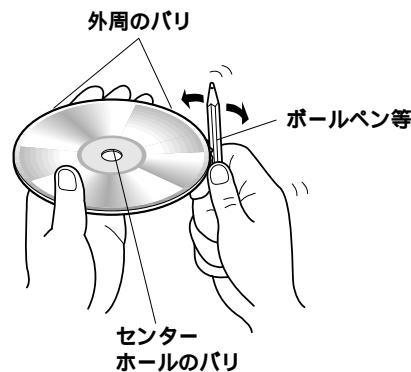
## CDのクリーニング

CDに汚れやゴミがついたときは、水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭いてください。



### お願い

ディスク面を拭くときは、必ず内側から外側方向に拭いてください。

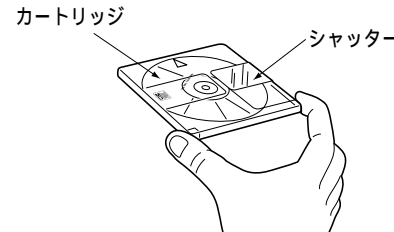


# MD（ミニディスク）の取り扱い

## 取り扱い上のお願

MDはカートリッジに収納され、ゴミや指紋から保護されています。ただし、カートリッジの汚れや変形があると誤動作や音質の低下をきたすことがありますので、次のことを参考に、取り扱いには十分ご注意ください。

- MDのシャッターを無理に開けようとする、破損することがあります。シャッターは絶対に開けないでください。
- ラベルのはがれかかったMDは、絶対に使用しないでください。本機の中で引っかかり、故障の原因になります。
- データ用のMDは使用できません。必ず音楽用のMDを使用してください。
- 録音されていないIMDは使用できません。



## 保管上のお願

- MDを長時間演奏しないときは、汚れやゴミ・キズ・そりなどを避けるため、MDは必ず本機から取り出して保管してください。また、取り出したMDは専用ケースに入れて保管してください。
- 次のような場所に置くことは避けてください。
  - 1) 長時間直射日光の当たる場所。
  - 2) 湿気やゴミ・ほこりの多い場所。
  - 3) 暖房器具の熱が直接当たる場所。
  - 4) 車のシート、ダッシュボードの上。

## MDのクリーニング

カートリッジに汚れやゴミがついたときは、乾いた布で拭いてください。その際も、シャッターは絶対に開けないでください。

# カセットテープの取り扱い

## 取り扱い上のお願

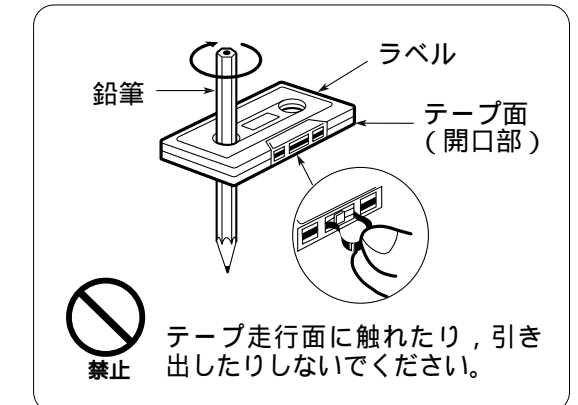
- ゆるみ止めを入れたままカセットテープを挿入しないでください。
- ラベルがはがれかかっているときは、貼り直してからご使用ください。そのまま使うとイジェクト不良などの原因になります。
- C-120テープやエンドレスカセットテープは使用しないでください。テープ巻き込みなどの原因になります。

## 保管上のお願

- ほこりがテープにつかないように、必ずケースに入れて保管してください。
- 次のような場所に置くことは避けてください。
  - 1) 長時間直射日光の当たる場所。
  - 2) 湿気やゴミ・ほこりの多い場所。
  - 3) 暖房器具の熱が直接当たる場所。
  - 4) 車のシート、ダッシュボードの上。
  - 5) 磁気のあるものの近く。

## たるみの取り除きかた

下図のように締め直してからお使いください。たるんだまま使用すると巻き込みなどの原因になります。



## ヘッドのクリーニング

本機を長時間お使いになりますと、ヘッドの表面にテープの磁性粉やゴミが付着し雑音が出たり、音質が悪くなることがあります。このようなときは、クリーニングテープやヘッドクリーニングキットでヘッド部分を掃除してください。

必要なくらい

必要なくらい